

## 【進捗点検における主なご意見に対する対応】

平成28年度淀川水系流域委員会  
第1回専門家委員会  
資料-2

分野	番号	主なご意見	ご意見に対する対応
【人川】	1	活動を通して住民、地域の意識がどのように変化したのか把握することが大事である。	アンケート調査結果等、参加者の意見を掲載。
	2	河川レンジャー活動以外の市民団体の活動も盛り込んでどうか。	可能な範囲で市民団体の活動内容を記載。
	3	環境、治水、河川管理等の観点からレンジャー活動を評価することも必要であり、目標に対してどれだけ貢献しているか評価してはどうか。	それぞれの観点から活動内容や活動の成果について記載。
	4	河川管理者が発信した情報が、どう受信され、どう利用されたかということ把握することも重要である。	利用状況を把握し、利用事例を記載。
	5	ハード整備だけでなく、ソフト面をいかに充実させるかという視点も必要である。	ソフト面における取り組み事例を記載。
	6	水源地域ビジョンの推進状況について、目標に対してどれぐらい寄与し得るかを評価されたい。	全体像と実施方針等を記載。
【環境】	1	外来種対策として、駆除作業をしなかったとの記載だけでなく、これまでの対策において効果が上がったものについては対策内容を記載すべき。	外来種対策の取り組みについては、近年の取り組み内容を記載するとともに、過去の取り組みの中で効果があった事例についても記載。
	2	魚の遡上については、年度を追ってどのように改善されたのか、また今後の見通しまで記載されているとわかりやすい。	魚道の設置効果や進捗に向けた取り組みを記載。
	3	イタセンパラの進捗状況について、調査結果だけではなく、調査を踏まえてわかったことや課題等も記載されたい。	関係機関との連携や、水位操作や外来種駆除の取り組みなどを記載。

## 【進捗点検における主なご意見に対する対応】

分野	番号	主なご意見	ご意見に対する対応
【治水・防災】	1	防災意識の向上の取り組み内容も記載してほしい。	水防訓練や地域住民に向けた啓発活動等、防災意識向上への取り組み内容を記載。
	2	水害に強い地域づくり協議会では、関係自治体との連携によってどのように役立っているのかという点検も必要である。	関係自治体との連携による成果を記載(防災行動計画(タイムライン)、マイ防災マップ等)。
	3	土砂移動について、制御と実態把握だけでなく、土砂災害に対する被害軽減対策や避難体制の整備状況を入れて頂きたい。	ソフト対策等の取り組み事例を記載。
	4	「情報の発信の量の点検」、「確かにみてもらったという点検」、「利用されたという点検」と3ステージでの点検が大事。	実施内容だけでなく、実施したことによる結果について可能な限り記載。
【利水】	1	水の融通や利用の促進など、どれだけ水利権のまたがったところで融通できたかという指標を何らかの形で設けられないか。	水利用のあり方(淀川水系水利用検討会)の取り組み内容を記載。
【維持管理】	1	出水期までに対策を要するものと、経過観察のものと区分し、要補修箇所において補修が残っているものについて説明されたい。	「河川管理施設の点検結果評価要領(案)」に基づき、点検、補修箇所等の考え方を記載。

## 【進捗点検における主なご意見に対する対応】

分野	番号	主なご意見	ご意見に対する対応
【利用】	1	川の利用に結びつく活動であったのかという視点で内容を評価する必要がある。	利便性向上につながる取り組み内容であったのかアンケート調査や利用状況等を記載。
	2	淀川水系全体に共通した川らしい利用ということではなく、各河川毎の川らしい利用の検討をされたい。	各河川ごとに点検。
	3	小経については、整備延長だけでなく、整備した結果、どのような効果があったのか整理できないか。	利用状況等を記載。
	4	整備の実施量に関する指標だけでなく、整備することによってどれだけの人が利用したかといった整備前後の影響を整理すべき。	利用状況等を評価。
【その他】	1	回数だけの進捗だけで、各事業の目標やメッセージが伝わってこない。整備計画に掲げた目標がどの程度達成されたかを確認するものである。	全体像、実施方針等を記載。
	2	進捗状況について、「該当なし」や「進捗なし」と記載されたものがあるが、すでに完了しているもので「進捗なし」と記載されたものがある。状況を記載されたい。	進捗がないものについても状況を記載。
	3	進捗率だけでなく、進捗のプロセスをどう評価するかが重要。	実全体像、実施方針等を記載。